

公演報告：N響ヨーロッパ公演2020 in ウィーン

2月27日、楽友協会と並ぶウィーンを代表するコンサートホール、ウィーン・コンツェルトハウスで、このツアー4公演目となるウィーン公演が開催されました。

このホールは、N響の育ての親とも言えるサヴァリッシュや、最近東京での定期公演を指揮したエッシェンバッハ、ルイージが首席指揮者を務めた、ウィーン交響楽団の本拠地でもあります。

パリに続き、満場のお客さまで埋め尽くされたコンツェルトハウスでは、武満徹《ハウ・スロー・ザ・ウィンド》、カティア・ブニアティシヴィリの独奏によるベートーヴェン《ピアノ協奏曲 第3番》、ブルックナー《交響曲 第7番》の3曲が演奏されました。

また、ゲスト・コンサートマスターのライナー・キュッヒルも来場し、篠崎史紀、伊藤亮太郎とN響3人のコンサートマスターが勢揃いしました。

N響ヨーロッパ公演2020 ウィーン公演

2020年2月27日(木) 7:30pm～

ウィーン・コンツェルトハウス

指揮：パーヴォ・ヤルヴィ

ピアノ：カティア・ブニアティシヴィリ

武満徹／ハウ・スロー・ザ・ウィンド

ベートーヴェン／ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37

ブルックナー／交響曲 第7番 ホ長調



撮影:Lukas Beck(4枚目をのぞく)